

ワークショップスタンプラリー

ワークショップに参加すると、このチラシにそれぞれのアーティストによるオリジナルのスタンプを押してもらえますよ！5回すべて集めて、美術館オリジナルグッズをゲットしよう！

※スタンプは一人各一回のみとなります。

3

4

5

●申込方法

内面に記載のQRコードを読み込むか、
各回ごとに市原湖畔美術館のホームページ
からお申込みください。

<https://ism-ichihara.jp/>

※すべての回に参加できなくても構いません。

※イベントの内容は天候その他の理由により
変更になる場合がございます。ご了承ください。

※申込は各回、申込開始日からの先着順となります。定員に達し
次第締切りとなります。美術館HPからご確認ください。



市原湖畔美術館とは

市原湖畔美術館は、千葉県一の貯水面積を誇る高滝湖を望む、自然豊かな美術館です。

1995年に開館した観光・文化施設「市原市水と彫刻の丘」のリニューアルにより、市原市の市制施行50周年を記念して2013年に誕生しました。首都圏から車で約1時間というアクセス、アートだけでなく屋内外でのワークショップやアクティビティなど「アートによる地域づくり」を展開し、「里山の地でしっかり立ち、眼は広く世界を眺める」をこころざしとしています。

2026年1～3月は休館中のため、4月中旬以降から順次展覧会・イベントを開催予定です。皆様のご来館をお待ちしております！市原湖畔美術館 〒290-0554 千葉県市原市不入 75-1

こどもワークショップ企画

出張！

不思議なオブジェや風景と出会う！

1/12 青木彬／野ざらし

フッシュトイをつくろう！

市原

湖畔

松元悠

市原で一日限りの音楽隊を結成！

新聞記事やニュースを木版リトグラフで作品にしよう！

美術館

顔彫刻をつくろう！——市原の100人の顔——

ICHIHARA LAKESIDE MUSEUM

アートと友達になれる！市原でみつけるあなただけのアート

1/12(月)：青木彬／野ざらし | 2/8(日)：KOSUGE1-16 | 2/21(土)・22(日)：松元悠 | 3/7(土)・8(日)：西原尚 | 3/21(土)・22(日)：三宅感

会場：市原市内北部各所
主催：(株)アートフロントギャラリー〔市原湖畔美術館〕 | 助成：子どもゆめ基金 | お問い合わせ：(株)アートフロントギャラリー
●TEL：0436-98-1525 ●e-mail：event@ism-ichihara.jp ※休館中につき電話に出られない場合がございます。

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

出張！市原湖畔美術館

市原湖畔 美術館は2026年1～3月の間、リニューアルにむけてお休み中。

皆さんに アートを楽しんでもらうため、市原市北部の各所で全5回のアーティストによるワークショップを開催します。

個性豊かなアーティスト・キュレーターと一緒に、みんなのまちで新しいワクワク体験を！

1月12日(月) 13:30—15:30

申し込みはこちら！



自分の視点で発見していく！ ユニモのなかで不思議なオブジェや風景と 出会うアートオリエンテーリング大会！

ユニモを“商業施設”ではなく別の世界に見立てて冒険します。館内のモノを“別の何か”に見立てたとき、全く新しい風景が広がるワークショップです。

●定員：20名／小学生以上(保護者参加可) ●無料 ●場所：ユニモちはら台Ⅲ290-0050 市原市ちはら台西3-4
※動きやすい服装でお越しください。



「野ざらし」の活動の様子

青木彬／野ざらし(あおきあきら／のざらし)
インディペンデント・キュレーター。アートを軸にまちづくりや福祉領域と協働したアートプロジェクトの企画運営などを行なう。2020年から建築家の佐藤研吾、アーティストの中島晴矢とともに「野ざらし」を結成。



2月8日(日) 13:00—15:00

申し込みはこちら！



プッシュトイをつくろう！

市原湖畔美術館の人気作品「トイソルジャー」が小さなプッシュトイになってやってきた！出来上がった作品の台座を押すとトイソルジャー君が伸びたり縮んだり、まるでダンスをしているみたい。木のパーツを組み合わせて自分だけのプッシュトイをつくろう！

●定員：30名／小学生以上(保護者参加可) ●材料費：1000円
●場所：姉崎保健福祉センター(アネッサ)2階研修室 | 〒299-0118 市原市椎津1131
※当日現金支払い ※汚れてもよい服装でお越しください。



KOSUGE1-16(こすげいちのじゅうろく)
車田智志乃と土谷享によるアーティスト・ユニットとして2001年より活動を開始。現在は土谷が代表として活動。日常にある出来事や人のつながりなどをきっかけに作品を制作し、作品を通して様々な関係性をつくりだしています。

2 2/8 姉崎保健福祉センター(アネッサ)
KOSUGE1-16

2月21日(土)・22日(日) 10:00—12:30

申し込みはこちら！



いちはら青空新聞社

——新聞記事やニュースを木版

リトグラフで作品にしよう！

かつて日本には「報道画家」という、ニュースを絵にして知らせる役割をもった人々がいました。その絵は版画として多くの人の手に渡りました。報じられる出来事に、あなた独自の視点や思いが加われば、それはどんな絵になるでしょう。事実を知ること以外の感情を、誰かにもたらし出すことが出来るでしょうか。

●定員：20名／小学生以上(保護者参加可) ●材料費：1000円
●場所：市原市立中央図書館2F視聴覚ホール | 〒290-0050 市原市更級5-1-51 ※当日現金支払い ※汚れてもよい服装でお越しください ※1日目に記事のリサーチ、2日目にリトグラフの制作を行います。両日参加をお願いします。[関連展示] ●展示期間：2月25日(水)—3月3日(火)
●場所：市原市役所 1F市民プラザ(入場無料)市原市立中央図書館



松元悠(まつもととはるか)

1993年京都府生まれ。2018年京都市立芸術大学専攻版画修了。偶然見聞きしたニュースの現場を自画像として描いたリトグラフ作品を制作。また、展覧会に個展『夢』(兵庫県立美術館、2025)



学大学院美術研究科絵画を訪れ、当事者たちの姿を、法廷画家としても活動など。

3月21日(土)・22日(日) 全3回

申し込みはこちら！



顔彫刻をつくろう！——市原の100人の顔

つついスマホやテレビに夢中になって、大切な人の顔をじっくり見ていないかも？紙粘土で顔彫刻を作ると、「あれ？こんな顔だったんだ！」と新しい発見があるよ！作った作品は一週間展示して、みんなに見てもらおう！

●日程：3月21日(土) 第1回 10:30～12:00 / 第2回 14:00～15:30 | 3月22日(日) 第3回 10:30～12:00 ●定員：各回45名(一人でも参加可) / 小学生以上(保護者参加可) ●材料費：1000円 ●場所：いちはら子ども未来館(weぼーる) | 〒290-0050 市原市更級5-1-18
※当日現金支払い ※汚れてもよい服装でお越しください。
[関連展示] ●展示期間：3月21日(土)—28日(土) 10:00～17:00 ●場所：いちはら子ども未来館2階バルコニー(入場無料)



Photo: Nakamura Osamu

三宅感(みやけかん)

1983年高崎市出身。2019年から多摩美術大学 彫刻学科で非常勤講師として勤務。2016年に紙粘土と発泡スチロールを使った巨大壁画で岡本太郎賞の大賞を受賞。彫刻、絵画、映像、パフォーマンスなど様々な表現に挑戦しています。

3月7日(土)・8日(日) 13:00—16:00

申し込みはこちら！



市原で一日限りの音楽隊を結成！

「ハウリング・ウルフ・オーケストラ」で街を練り歩く！

西原尚さん考案した口と身体を使った楽器「ワオン・ホン」を体験するワークショップ。この楽器の仕組みはまるでオオカミの遠吠えのよう！？みんなで上手にオオカミの遠吠えを操って、2日目には音楽隊を結成します。不思議な音を奏でながらユニモ周辺を練り歩こう！

●定員：20名／小中学生 ●材料費：1000円 ●場所：1日目 ちはら台コミュニティセンター 第1会議室 | 〒290-0142 市原市ちはら台南6-1-3 / 2日目 ユニモちはら台 | 〒290-0194 市原市ちはら台西3-4 ※当日現金支払い ※汚れてもよい服装でお越しください ※1日目に楽器準備、2日目に演奏をする予定です。両日参加が難しい場合は別途ご相談ください。



Photo: 岡本千尋

西原尚(にしはらなお)

1976年生まれサウンドアーティスト。いつもの生活とアートの境目なく、研究や録音、音楽制作、楽器制作などを行い、知らない人と会いたい、知らない文化や習慣に触れたいという思いから、国内外で多数の展示やパフォーマンスを展開しています。

